

2009年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(学部・研究留学生)

日 本 語

注意 ☆試験時間は60分。

☆答えは全て解答用紙に記入すること。

日本語

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I 次の _____ に 入る 正しい ものを A~Dの 中から 一つ 選びなさい。

(例) 私は 来年 日本 _____ 行きます。
A が B へ C を D で

- 1 毎朝 8時に 家 _____ ですよ。
A へ B を C が D で
- 2 これから 友達 _____ 会います。
A に B を C で D まで
- 3 私は 紅茶は のみですが、コーヒー _____ のみません。
A は B が C も D に
- 4 私の 学校は 駅から _____、便利です。
A 近いと B 近くの C 近くに D 近くて
- 5 私が _____ 日本の たべものは てんぷらです。
A 好きの B 好きで C 好きな D 好きだ
- 6 この コンピュータを _____ も いいですか。
A 使う B 使わない C 使った D 使って
- 7 昨日の 夜、電気を つけた _____ 寝てしまいました。
A ながら B まま C まえに D ように

- 8 何時なんじから テストが 始はじまるか _____ か。
 A 知しります B 知しりました C 知しっています D 知しられます
- 9 来週らいしゅうまでに この 本ほんを よんで _____ ください。
 A おいて B なって C あって D おわって
- 10 こんなに たくさん お金かねが もらえるなんて、まるで 夢ゆめを 見みている _____ だ。
 A だろう B ようだ C そうだ D らしい
- 11 テレビを 安やすく _____、あの 店みせが いいですよ。
 A 買かえば B 買かったら C 買かうと D 買かうなら
- 12 頭あたまが 痛いたいので、すみませんが 授業じゅぎょうを _____ いただけないでしょうか。
 A 休やすまないで B 休やすまれて C 休やすませて D 休やすまされて
- 13 日本の 食文化しょくぶん文化に _____ 研究けんきゅうしたいと 思おもっています。
 A おいて B ついて C かけて D たいして
- 14 日本語にほんごを 勉強べんきょうした _____、まだ 1カ月かげつだけです。
 A からといって B にしようと
 C にしては D といっても

II 次の _____ に 入はいる 正ただしい ものを A~Dの 中なかから 一ひとつ 選えらびなさい。

(例) 毎まい日にち バスと 電でん車しゃで 学がく校こうへ _____。
 A 書かきます B 行いきます C 話はなします D 聞ききます

- 1 図書館としょかんで 本ほんを _____ 借かりました。
 A 3ぼん B 3さつ C 3だい D 3まい

- 2 近くのスーパーへ _____ に 行きました。
A きょうしつ B びょういん C りょこう D かいもの
- 3 このお寺の 前で いっしょに _____ を とりましょう。
A しゃしん B しけん C かいしゃ D しゅみ
- 4 あの人は 2006年に 大学に _____ から、今 大学3年生です。
A いました B でした C はいりました D のりました
- 5 一日に 二回 風邪の 薬を _____ います。
A たべて B のんで C よんで D きて
- 6 答えが わかった 人は 手を 高く _____ ください。
A あがって B あげて C さがって D さげて
- 7 毎日 顔を 洗って 歯を _____ 。
A みがきます B かぶります C はきます D あびます
- 8 私の カメラは とても 古いので、 _____ のが 欲しいです。
A あまい B あかるい C あたらしい D あたたかい
- 9 5歳に なる 私の 娘は とても _____ 絵を かきます。
A ゆうめいに B しんせつに C じょうずに D じゅうぶんに
- 10 私は _____ 7時に おきて、8時に 学校へ 行きます。
A もっと B いつも C もし D とても
- 11 今から いっしょに 夏休みの _____ を 立てましょう。
A 連絡 B 計画 C 方法 D 約束
- 12 子供の とき、飼っている うさぎの _____ を するのが 私の 仕事で
した。
A 印象 B 工夫 C 支度 D 世話

- 13 ^{ほうりつ}法律を_____ ^{ひと}人は ^{ばつ}罰せられます。
A のこらない B きまらない C まもらない D もどらない
- 14 まだ ^{たいちよう}体調が よくないので、_____ ^{うんどう}運動は ^{ほう}しない方が いいでし
う。
A はげしい B まずしい C やかましい D なつかしい
- 15 ^{はっぴようかい}発表会を やるのだが、^く来るのは_____ ^{にん}20人ほどであろう。
A ますます B せいぜい C たちまち D わざわざ

Ⅲ つぎ かいわ ぶん に入る 正しい ものを A～D の中から 一つ 選び なさい。

(例) 「明日の天気はどうか。」

「_____。」

- A はい、そうです
- B いいえ、わるいですよ
- C いいそうですよ
- D そうですか

1 「先生、宿題の作文を書いたんですが、ちょっと見ていただけませんか。」

「_____。」

- A ええ、いいですよ
- B 書いてほしいですね
- C まだ見ていませんよ
- D はい、まだいいですね

2 「あのう、すみません。もう夜遅いので、静かにしてもらえませんか。」

「_____。」

- A 静かじゃありませんね
- B ありがとうございます
- C よろしくお願ひします
- D すみません。ごめんなさい

3 「田中さん、この間、手伝ってくださって、ありがとうございました。」

「いいえ。スピーチ、うまくいきましたか。」

「ええ、_____ うまくいきました。」

- A 失礼ですが
- B どういたしまして
- C おかげさまで
- D すみませんが

4 「先生、これ、国の両親から送ってもらった果物ですが、先生に差し上げるように言われました。」

「あ、そうですか。おいしそうですね。じゃあ、遠慮なく_____。」

- A やります
- B くださいます
- C いただきます
- D あげます

5 「明日の午後5時から、学生会館でパーティーがあるんだけど、_____、いっしょに行かない？」

「うん、いいね。」

- A 行くようなら
- B よかったら
- C ひまがないなら
- D うれしかったら

6 「はじめまして。田中と申します。どうぞよろしく。」

「鈴木です。どうぞよろしく。田中さんはどちらからいらっしゃいましたか。」

「東京から_____。」

- A まいりました
- B いらっしゃいました
- C 行ってきました
- D すんでおりました

IV 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

電子メールは、これまでの連絡手段と比べて格段に簡単で、送信の手間^(a)がかからず、また通信のコストも低い。したがって、これまでは送られなかった情報でも送られるようになる。これは、経済学的に考えればごく当然のことだ。つまり、情報伝達のコストが低下すれば、価値の低い情報までも送信されることになるのだ。受け⁽¹⁾の立場からいえば、「どうでもよい」メールが大量に舞い込むことになる。

ここで問題になるのは、受信した情報のなかには、非常に重要なものも混じっていることだ。すべての受信メールが価値の低いものなら、受信したメールのすべてを無視すればよい。しかし、重要なものが混じっているとすると、そうするわけにはゆかない。⁽²⁾のなかから重要なメールをどのようにして選別すればよいか。これが電子メールで情報交換を行う場合の最大の問題である。

しかも、電子メールがほかの連絡手段に比べて恐ろしいのは、「行列が“内側”にできてしまう」⁽³⁾ことだ。これはつぎのような意味である。

仮に私が来客と面談しているとしよう。つぎの来客があったとしても、その人は部屋の外で待っている。電話でも、基本的な状況は同じだ。もし私が誰かと話しているとすれば、そこにかけてきた人は、「通話中」の信号音を聞くことになる。つまり、このような場合、行列は“外”にできているわけだ。

ファックスになってから、この状況が変わった。ファックスの場合には、私が読んでも読まなくても、つぎのファックスが到来する。それを読むのは、私の責任である。つまり、行列は“内側”にできていることになる。

ファックスの場合には、幸か不幸か、受信速度^(b)がそれほど速くなかった。だから、“行列が内側にできる”とはいっても、極端に長い行列ができるということにはならなかった。あるメッセージを受信中には、電話の場合と同じように、ファックスも「話し中」になるのである。

しかし、電子メールは瞬時に着信する。すると、原理的には膨大な数のメールが着信してしまうことが起きうる。まさに、情報の洪水が押し寄せることになる。

しばしば、「電子メールを用いれば、平社員^(c)でも社長に直接にメールを送ることがができる。したがって、電子メールは組織をフラット化させる」といわれる。たしかに、原理的にはそうである。しかし、それが実際に可能なのは、電子メールが普及しない

間だけのことだ。仮に組織の全員が電子メールで連絡をとるようになれば、大企業の社長が全社員からのメールを直接に見ることなど、到底不可能になる。

それゆえ、社長の補佐役がメールを読み、必要なものだけを社長に伝えるという必要が生じるだろう。電子メールによって、従来のかたちの中間管理者は不要になるかもしれない。しかし、新しいかたちの中間管理者は必要になるのである。

問い1 文中の(a)手間、(b)受信速度、(c)平社員の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問い2 文中の受け に入るもっとも適当な漢字を次のA～Dの中から一つ選びなさい。

A 手 B 方 C 体 D 皿

問い3 文中の に入るもっとも適当な言葉を次のA～Dの中から一つ選びなさい。

A 千差万別 B 荒唐無稽 C 天地無用 D 玉石混淆

問い4 文中の(3)「行列が“内側”にできてしまう」のあらわす意味としてもっとも適当なものを次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A メールを送った人は面談や電話と同じように、すぐに返事をもらえる。
- B メールを読んでいなくても、送った人には読んだものと思われてしまう。
- C 受信したたくさんのメールに対して、一度に返事を出すことになる。
- D 受信したメールの順番通りに、仕事をしなければならなくなる。

問い5 この文章の内容としてもっとも適当なものを次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A 情報伝達にコストがかからなくなると、価値の高い情報は送信されにくくなる。
- B 大企業のすべての社員が電子メールを使えば、社長は簡単にすべての情報に目を通すことができるため、組織がフラット化し、経営コストが下がる。
- C 連絡の手段が簡単になり、情報伝達のコストが低下すると、処理できないほど大量の情報が送られてくるようになる。
- D たくさんの重要なメールのなかから自分に必要なものを見つけ出すのは困難である。

V 次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

世界的に有名な日本の文学作品の一つに『源氏物語』がある。『源氏物語』は登場人物たちの恋愛模様を扱った作品で、その作者は10世紀から11世紀にかけて活躍した紫式部という女性である。『源氏物語』は登場人物たちの心理描写に優れた作品であるため、世界最古の長編小説として評価される場合もある。

文学作品としての『源氏物語』の名声が世界中に広まるきっかけを作ったのは、そのほぼ全文を最初に英訳したアーサー・ウェイリー (Arthur Waley) であった。1889年にイギリスで生まれたウェイリーは、幼いころから語学と文学の才能があり、大学では西洋古典学を専攻した。しかし、突然失明の危機に見まわれ、大学院進学をあきらめなければならなくなった。ウェイリーは結局博物館で働くことになった。そこで東洋美術を担当した関係上、彼は独りで日本語と中国語を勉強し始めた。そのカテイで『源氏物語』の存在を知ったウェイリーは、その魅力を伝えようと、苦勞しながら、翻訳作業を進めていったのである。

ウェイリーは1925年に『源氏物語』の英訳である *The Tales of Genji* の出版を開始した。ウェイリーが『源氏物語』の翻訳を発表すると、「文学において時として起こるキセキの一つ」と絶賛された。しかし、『源氏物語』の原文と比較してみると、ウェイリーの英訳には、問題があった。ウェイリーは『源氏物語』の一章をまるごと翻訳せ

ずに省略したり、文章の省略や付け足しもかなり大胆に行っているのである。ウェイリーの英訳が場合によってはウェイリーという天才が創出した文学作品であると評価されるのは、そのためである。

ウェイリーに続いて、『源氏物語』の英訳を出版したのは、エドワード・サイデンス⁽³⁾テッカー (Edward G. Seidensticker) であった。サイデンステッカーは1921年にアメリカで生まれた。彼の少年時代は日本語・日本文化とは全く無縁で、大学では英文学を勉強した。しかし、1941年に日本とアメリカの間で戦争が始まると、アメリカ軍は情報収集の観点から日本語ができるアメリカ兵を育てようと、アメリカ兵のための日本語学校を設立した。サイデンステッカーはたまたまその日本語学校に入学し、日本語を勉強し始めたのである。

戦争が終了すると、サイデンステッカーは日本の大学へ留学して、日本文学を研究し、ウェイリーの『源氏物語』の英訳の問題点に気づくことになった。そして、帰国後、アメリカの大学で日本文学を教えていく中で、少しずつ『源氏物語』の英訳を完成させていき、1976年に新たな英訳を発表した。サイデンステッカーはウェイリーが省略した章も含めて、すべての章を翻訳した。彼の英訳の特徴は簡潔で歯切れの良い表現を取っていることであった。

これら二つの英訳のほかにも、1966年にはドイツ人のオスカー・ベンル (Oscar Benl) が原文からのドイツ語訳を発表するなど、東洋の古典文学である『源氏物語』は世界文学へとその地位を向上させていった。さらに1980年代以降、原文からフランス語・中国語・朝鮮語・ロシア語への翻訳も完成したほか、2001年にはアメリカ人のロイヤル・タイラー (Royall Tyler) による第三の英訳も出版された。世界文学として⁽⁴⁾の『源氏物語』の名声は現在も広がり続けているのである。

問い1 文中の(a)カテイ、(b)キセキをそれぞれ漢字で書くとどうなりますか。正しいものをA～Dの中から一つ選びなさい。

(a)カテイ A 課程 B 仮定 C 過程 D 確定

(b)キセキ A 軌跡 B 定跡 C 遺跡 D 奇跡

問い2 (1)『源氏物語』^{げんじものがたり}の説明としてもっとも適当なものを次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A 『源氏物語』の作者は現在でもわかっていない。
- B 『源氏物語』は世界で一番古い文学作品である。
- C 『源氏物語』より優れた小説はない。
- D 『源氏物語』はおよそ1000年ごろに書かれた。

問い3 (2)アーサー・ウェイリーの説明としてもっとも適当なものを次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A アーサー・ウェイリーは小さいころから語学と文学の才能があったので、『源氏物語』の英訳は簡単だった。
- B アーサー・ウェイリーの大学時代の専門は博物館の仕事に全面的に役立った。
- C アーサー・ウェイリーの『源氏物語』の英訳は翻訳ではないという人もいる。
- D アーサー・ウェイリーは勉強への自信を失って、大学院に入学することをあきらめた。

問い4 (3)エドワード・サイデンステッカーの説明として正しくないものを次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A エドワード・サイデンステッカーは1941年からの戦争のときも、軍隊には入らなかった。
- B エドワード・サイデンステッカーが『源氏物語』の英訳を発表したときには、原文から英語以外の言語への翻訳も行われるようになっていた。
- C エドワード・サイデンステッカーの日本留学時代に勉強したことは、アメリカの大学で学生をしていたときに勉強したこととは異なっていた。
- D エドワード・サイデンステッカーは少年時代に、日本文学に関する知識がなかった。

問い5 (4)世界文学としての『源氏物語』の名声は現在も広がり続けているのであるとあるが、『源氏物語』の世界文学化に関して述べた次のA～Dの中からもっとも適切なものを一つ選びなさい。

- A 原文からのフランス語訳があるので、これから新たなフランス語訳を出しても、これ以上『源氏物語』の名声が世界的に広がる可能性は全くない。
- B 世界文学としての『源氏物語』の名声広がった原因として、原文からの翻訳が英語以外の言語でも行われたことも指摘できる。
- C すべての章を翻訳した点で、サイデンステッカーよりもウェイリーの英訳の方が『源氏物語』の世界文学化に貢献している。
- D 『源氏物語』が世界文学になり始めてから、100年以上の月日が経った。